

平成 25 年度 再々評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	千塚川砂防事業
担当部署	都市整備部河川室河川環境課砂防グループ（連絡先 06-6944-9302）
事業箇所	八尾市神立
再々評価理由	再評価後 5 年経過
目的	本溪流は溪岸・溪床の浸食が著しいため、土石流の発生による災害から府民の生命・財産を保護するため砂防えん堤を整備する。
内容	砂防えん堤 1 基 堤高 14.5m 堤長 78.0m
事業費 （ ）内の数値は 前回評価時点のもの	全体事業費：約 4.9（約 4.5 億円）（国：2.45 億円、府：2.45 億円） （内訳）調査費等約 0.4 億円（約 0.4 億円） 【工事費の内訳】 用地費 約 1.8 億円（約 1.8 億円） えん堤工 約 2.7 億円 工事費 約 2.7 億円（約 2.3 億円）
事業費の変更理由	【事業費変動要因の状況】 掘削中の斜面崩壊対策等の仮設費用の増（約 0.4 億円増額）  【他事業者との協議状況】
維持管理費	必要なし

2 事業の必要性等に関する視点

	【事前評価時点 H6】	【再々評価時点 H20】	【再々々評価時点 H25】	【変動要因の分析】
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	災害発生の危険度 土石流危険溪流で あり、溪床には不安 定土砂が堆積して いるので、今後の降 雨により土石流発 生の危険度が高い。 保全対象 人家 239 戸 公民館 2 箇所 市道 2480m	左記に同じ	左記に同じ	

	【事前評価時点 H6】	【再々評価時点 H20】	【再々々評価時点 H25】	【変動要因の分析】
地元等の 協力体制等	防災事業として認識 されており、事業に対 する協力を得ている。	左記に同じ	左記に同じ	
事業の投資効果 ＜費用便益分析＞ または ＜代替指標＞	【効果項目】 人命保護 家屋被害軽減 公共・公益施設被害 軽減 【分析結果】 ・ B/C=- B=- C=- 【算出方法】 計画時点では費用便 益の分析手法が確立 されておらず、算出し ていない。  【受益者】 土石流危険溪流内の 被害想定区域内住民	【効果項目】 左記に同じ  【分析結果】 ・ B/C=11.82 B=50.59 C=4.28 【算出方法】 国土交通省河川局 砂防部 「土石流対策事業 の費用便益分析マ ニュアル」 (平成 12 年 2 月)  【受益者】 左記に同じ	【効果項目】 左記に同じ  【分析結果】 ・ B/C=8.04 B=52.73 C=6.56 【算出方法】 国土交通省水管 理・国土保全局砂 防部「砂防事業の 費用便益分析マニ ュアル」 (平成 24 年 3 月)  【受益者】 左記に同じ	【 B / C 算出後 再確認】 事業期間が延びたこ とによる費用便益比 の減
事業効果の 定性的分析 (安心・安全、活力、 快適性等の有効性)	【効果項目】 対策施設の整備に より土石流危険溪流 の安全性が飛躍的に 向上する。 【受益者】 土石流危険溪流内の 被害想定区域内住民	【効果項目】 左記に同じ  【受益者】 左記に同じ	【効果項目】 左記に同じ  【受益者】 左記に同じ	
事業の進捗状況 ＜経過＞ ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③ 完成予定年度	①平成 6 年度 ②平成 7 年度 ③平成 10 年度	①平成 6 年度 ②平成 7 年度 ③平成 23 年度	①平成 6 年度 ②平成 7 年度 ③平成 26 年度	掘削中の斜面崩壊対 策などに日数を費や したため
＜進捗状況＞		・全体 67% (3.0 億円/4.5 億円) ・用地 100% (1.8 億円/1.8 億円) ・工事 35% (0.8 億円/2.3 億円)	・全体 92% (4.5 億円/4.9 億円) ・用地 100% (1.8 億円/1.8 億円) ・工事 85% (2.3 億円/2.7 億円)	

事業の必要性等に関する視点における判定（案）	当該溪流の氾濫区域内に存する人家・道路などの保全対象施設を土石流から守る手法として、砂防えん堤の整備は必要不可欠であるため、事業を継続する。
------------------------	--

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点における判定（案）	用地は全て取得済みであり、概ね工事が完了しており、残りの工事である取付工事及び通路等の復旧工事を平成 26 年度までに終える予定であることから、事業を継続する。
-----------------------	--

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点における判定（案）	工事費による進捗率は 85% であり代替案の余地はないため、事業を継続する。
------------------------------	--

### 5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	通路等の復旧工事において、植生の復元及び動植物の生息に配慮した形状・材質等を採用するよう心掛ける。
前回評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—
その他	【上位計画】 「大阪府都市整備中期計画（案）改訂版」（H24.3）

### 6 評価結果

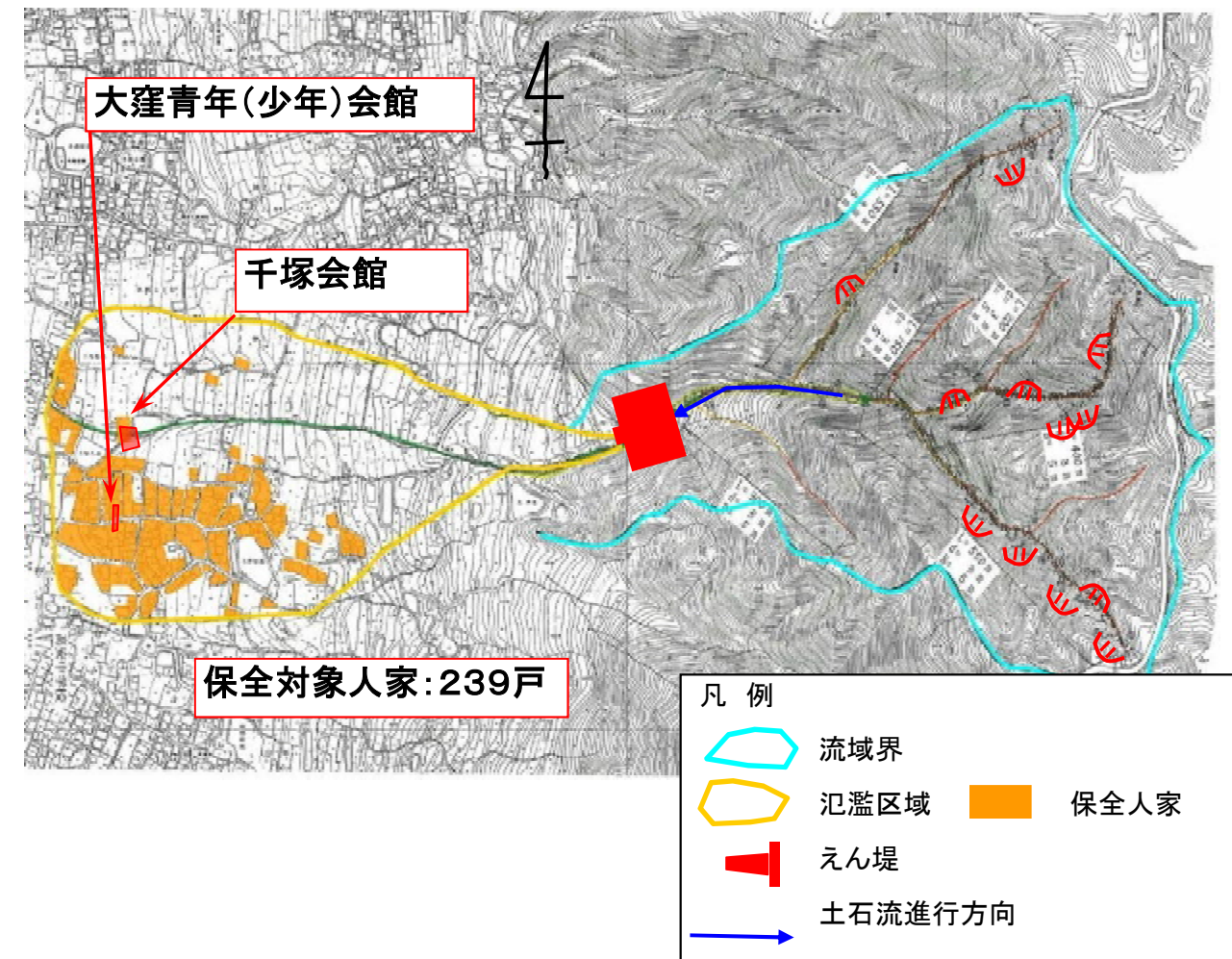
評価結果	○継続 <判断の理由> 工事の進捗率は 85% であり代替案の余地はなく、平成 26 年度までに完了する予定であり、事業の必要性についても変化ないことから、事業を継続する。
------	--

平成25年度 再々評価 (千塚川砂防事業)

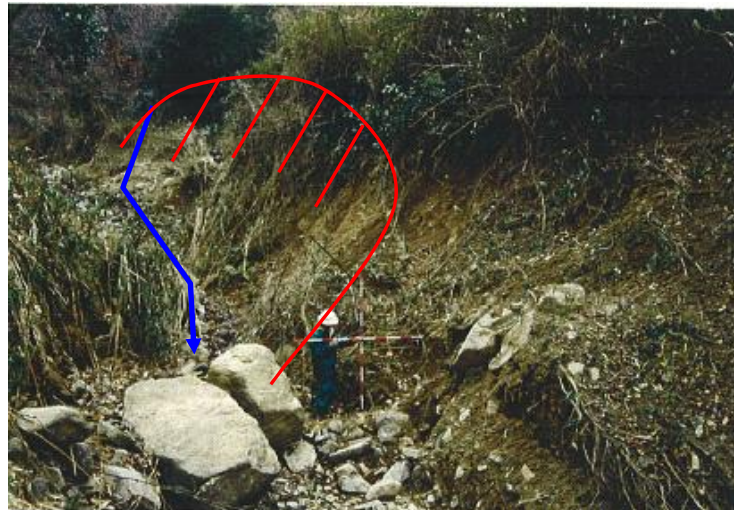
事業箇所図



平面図



現況写真



溪岸崩壊状況



荒廃状況

標準断面図

